

保護者の皆様

北斗市立上磯小学校長 後木 明 生

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果と取組について

令和4年4月19日（火）に実施しました6年生の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。今年度は、国語・算数に加え理科（H30年度実施以来4年ぶり）の3教科で調査が実施されました。今回の結果を基に、本校の児童が十分に理解しているところや課題になっているところを把握し、授業改善や生活指導に生かしたいと考えております。御家庭におかれましては、お子さんの学習・生活習慣の見直しや在り方について、親子で話し合う機会を設けていただきますようお願い申し上げます。

【令和4年度全国学力・学習状況調査結果～平均正答率～】

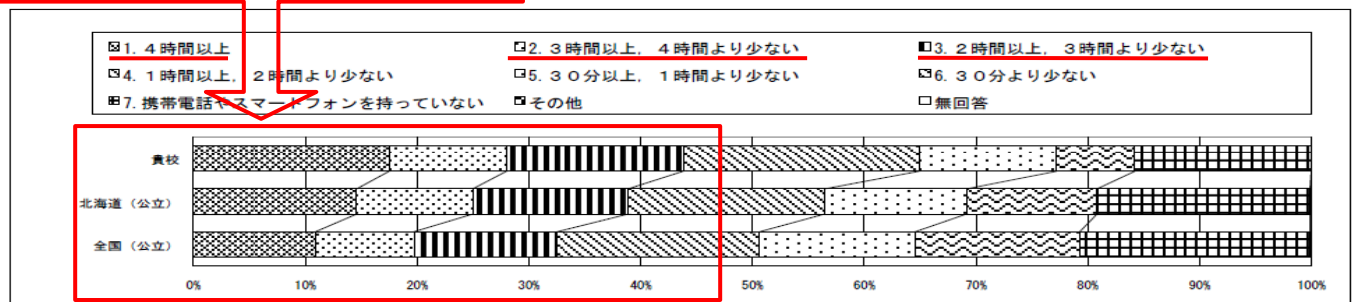
今年度、3教科とも全国・全道以上の結果が見られました。

| 教科 | 国語 | | 算数 | | 理科 | |
|-------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|
| | 平均正答率(%) | 全国差(%) | 平均正答率(%) | 全国差(%) | 平均正答率(%) | 全国差(%) |
| 上磯小学校 | 65.7 | +0.1 | 67.5 | +4.3 | 66.0 | +2.7 |
| 北海道 | 64.0 | -1.6 | 61.0 | -2.2 | 63.0 | -0.3 |
| 全国 | 65.6 | 0 | 63.2 | 0 | 63.3 | 0 |

【児童質問紙の分析】

本校児童は、国語や算数、理科が将来役に立つことや大切であることを理解し、問題を最後まで解答しようと努力することができます。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」と回答した児童が全道・全国以上であったことから、児童の学習意欲や表現力が向上していると考えられます。しかし、朝食の摂取や睡眠時間、携帯・スマートフォンの使用時間等、生活習慣に関わる質問事項で課題が見られました。さらに、新聞を読んだり、読書をしたりする時間も少ないことから、家庭と連携した生活習慣の改善や図書館・地域社会と協働した取組、ICT機器の使用ルールの徹底と有効的な活用を促す必要があると考えます。

| 質問番号 | 質問事項 | | | | | | | | | | |
|---------|---|------|------|------|------|------|------|---|---|-----|-----|
| (6) | 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） | | | | | | | | | | |
| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | その他 | 無回答 |
| 貴校 | 17.5 | 10.5 | 15.8 | 21.1 | 12.3 | 7.0 | 15.8 | | | 0.0 | 0.0 |
| 北海道（公立） | 14.6 | 10.4 | 13.9 | 17.6 | 12.7 | 11.7 | 19.1 | | | 0.0 | 0.1 |
| 全国（公立） | 10.9 | 8.8 | 12.8 | 18.1 | 13.9 | 14.7 | 20.6 | | | 0.0 | 0.1 |



御家庭へのお願い（引き続き取り組んでほしいこと）

- 日常の会話から意識し「表現させる」ことを大切にしてください。
- 家庭学習（主体的な学び）を大切にしてください。
- 正しい学習習慣・生活習慣作りを御協力ください。

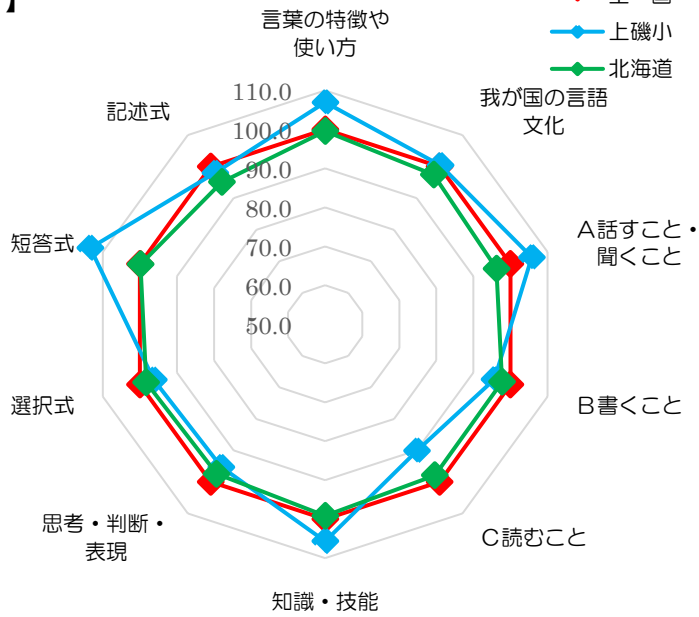
学校では（改善に向けた取組）

- 主体的・対話的で深い学びを実践し、日常の授業改善を進めます。
- 全校一斉での日記の取組や条件付き作文指導を継続実施していきます。
- 朝学習・放課後学習（チャレ15）・長期休業中のサポート学習の実施・改善に努めます。
- 学習用具のきまり・学習のスタンダードの統一・徹底を図ります。
- 読書環境の整備を図ります。 ○1人1台端末の活用・充実を図ります。

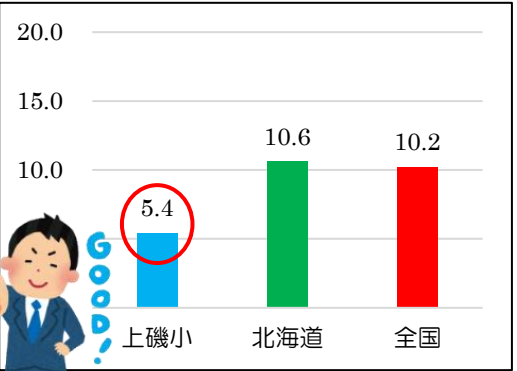


※全国平均を 100 として換算

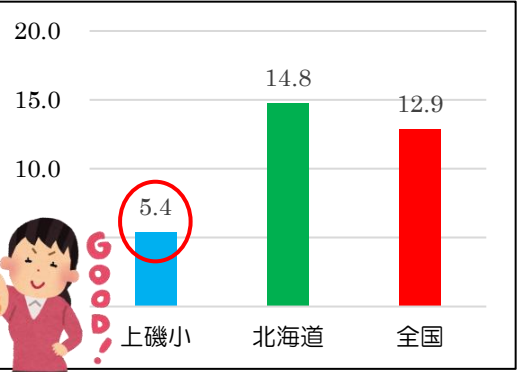
【国語】



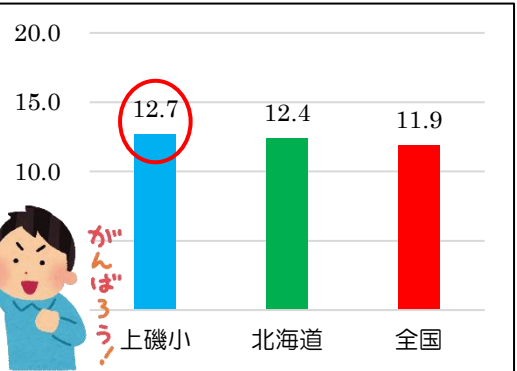
【国語：正答数の少ない児童の割合】
* 14 問中 4 問(約 30%) 以下



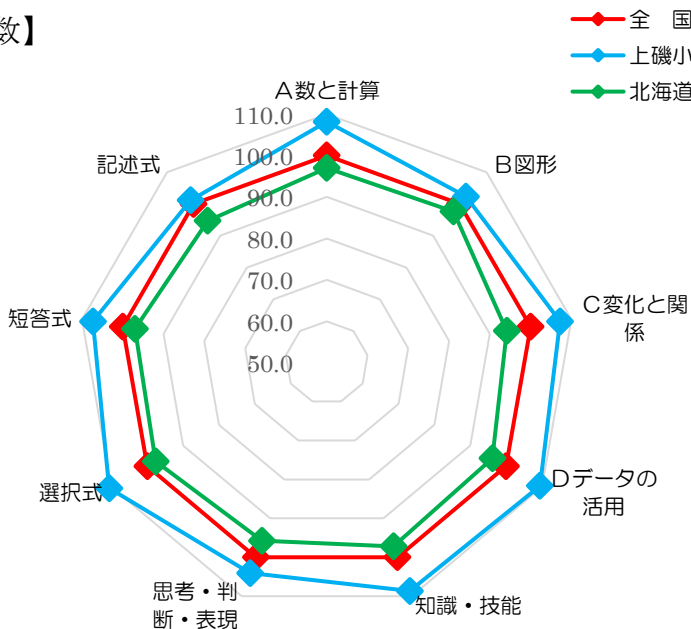
【算数：正答数の少ない児童の割合】
* 16 問中 5 問(30%) 以下



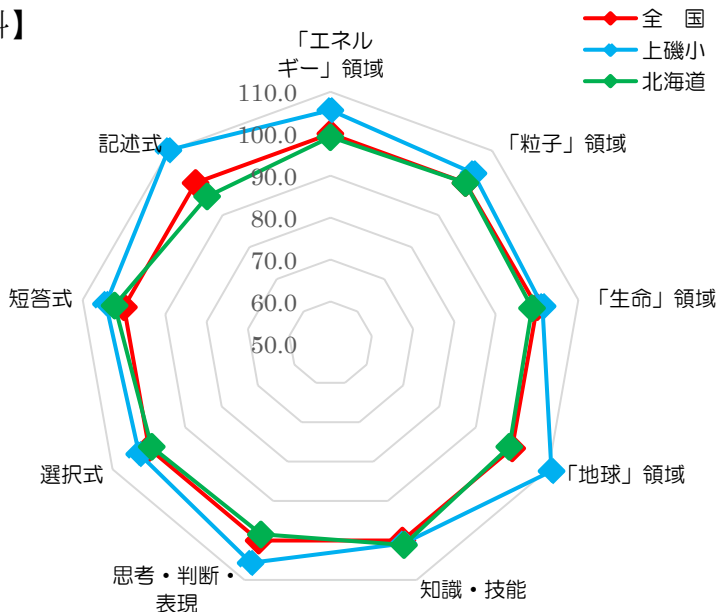
【理科：正答数の少ない児童の割合】
* 17 問中 5 問(約 30%) 以下



【算数】



【理科】



【分析】

国語では、漢字の読み書きといった基礎基本の定着（漢字3問とも全道・全国以上）に加え、簡単な文章の趣旨を捉える力の向上が図られています。書くことや読むこと、記述式の問題と情報を読み取り、自分の考えを表現する力に課題が見られました。

算数では、正答率が8割を超える問題が6/16問ありました。課題の見られた思考・判断・表現力を問う問題でも、5/7問が全国平均以上でしたが、知識・技能かつ選択式の問題（割合の定義や理解を問う問題）に課題が見られました。

理科では、水の三態変化についての理解力が高く、どの問題に対しても自分の考えをもつことができ、他教科と比べ記述式の問題に改善が見られましたが、知識・技能かつ選択式の問題（光の性質の理解を問う問題）に課題が見られました。